

シヨクカイ相場情報2024.10

国内野菜

全般

【根菜類】

○大根

北海道産・青森県産は軟腐病や横縞症が出ていましたが、9月下旬の段階で軽減されています。千葉県産は高温・乾燥の影響により、若干の生育の遅れが見られます。入荷量は前年並みとなる予想です。

○人参

北海道産は9月中旬ごろから気温が低下し、正品率は上昇しています。昨年は前進出荷で切り上がりが早まっていますが、今年は10月いっぱいまで出回るため、数量は昨年と比較して増える見込みです。

○玉ねぎ

北海道産を中心に出荷回しています。作柄も良く、L大中心の出荷が見込まれます。10月も引き続き順調な出荷が期待できます。数量は前年・平年共に増える見込みです。

【葉茎菜類】

○白菜

10月上旬～中旬は気温低下で需要が増え、引合いは強くなると思われます。茨城県産は増えず、当分の間は横ばいの入荷量となる見込みです。

○キャベツ

群馬県産は10月中旬から終盤に向けて、より減少傾向になります。千葉県産・茨城県産などの後続産地は生育は順調です。群馬県産の減りが早くなりそうなので、下旬で相場が上昇する見込みです。

○ほうれん草

9月15日～16日の連休明けから相場は下落しました。その分荷動きは昨年より良くなっており、10月上旬まではスムーズな販売となる見込みです。中旬以降は近在産地の秋冬作も出てくるため、相場も下がる見込みです。

【果菜類】

○胡瓜

9月下旬～10月上旬に東北産露地物が終了します。同時にほぼ関東抑制作となるため、上旬は引合いは強まる見込みです。中旬以降は晩抑制、西南暖地産が始まるので下げ基調となる見込みです。

○茄子

10月は平年より気温が高いとの予報があり、また需要期でなくなるため西と東の産地の出荷が重なる上旬は相場が下落する見込みです。予想入荷量は前年並みで平年をやや下回る見込みです。見直し単価360円/kgは前年並みで、平年をやや上回る見込みです。

畜肉

鶏肉

【輸入鶏肉】

ブラジルからの7月出船量（9-10月入荷）が大幅に増加したこと、円高の影響で軟調傾向です。特に200gUPや280/300の大きなサイズの中在庫も多く、値頃感が出てきました。反対に220/240以下の小さいサイズは先のオファーも少なく堅調な動きになっています。タイ産は生鳥価格が高く、大きな値下げは見込みにくい状況です。

豚肉

【輸入フローズン】

円高による先安感と高値継続による荷動き鈍化で、相場は軟化傾向にあります。ペリーは高値在庫の入荷と円高による先安感で買いが低下しており、一部では価格調整の動きも見られます。スペイン産シートペリーは在庫が滞留している為、値下げが予想されます。

牛肉

【豪州フローズン】

挽き材の需給状況は堅調です。米国からの引合いは継続しており、量販店向け、外食、加工筋向けの需要も増加しており、今後もこの傾向が続くと思われます。

【北米フローズン】

ショートプレート市場は静観状態にあります。現地凍結品の市中在庫は少なく、競合の影響もあり現地価格は安くないため、一気に値下げが進む状況ではありません。日本市場は価格軟化を期待していますが、現地ではトリミング価格の上昇が見られ、大幅な下落は見込みにくい状況です。

輸入野菜

ほうれん草

新物の播種は完了し、11月上旬から収穫・加工が開始される予定です。価格は今のところ変動はない見込みです。

さといも

新物の収穫・加工中です。一昨年のような異常気象の影響を受けず、生育が順調に進んでいるため、作柄・収穫量は例年並みとなる見込みです。大量の原料が市場に出回ることにより、一昨年の減産による価格上昇がさらに緩和し、例年並みの価格まで下がるのが期待されています。

ピーマン

シーズンは終了しました。一部産地では降雨の影響を受けていましたが、品質面においては特に問題がなく、緑ピーマン・赤ピーマンの価格も概ね例年並みとなっていますが、黄ピーマンの価格が高騰しています。さらに、各仕入先の供給可能数量が限られており、特に黄ピーマンの供給不足が懸念されており今後の動きに注意が必要です。

チンゲン菜 小松菜

新物の播種は完了し、10月中下旬から収穫・加工が開始される予定です。価格は概ね例年並みです。

なす

新物加工中です。収穫期間中、連日の雨の影響を受け、生育が遅くなっているため、加工できる原料も例年より3割ほど少なくなっています。一部工場は原料不足を受け、加工シーズンは10月頭まで長引く見込みです。

魚介

鮭・鱈

【鮭・鱈】

今期鮭原料は、漁獲量の減少推移を要因として値上がりしています。今後製品価格についても、値上がりする状況です。また、製品の品薄状態が予想されています。鱈原料は昨年と比較して、今期供給量が減少となっている事から、製品価格についても値上がりに転じています。

【チリ銀鮭・トラウト】

チリ銀鮭原料は、高値水準帯での推移となっています。製品価格相場についても同様の状況が続いています。サーモントラウト原料は、原料の品薄を要因として、原料、製品、価格共に高騰で推移し、値上がりとなっています。

サバ

ルウエー産・アイスランド産等の欧州サバは、今期原料が昨年度と比較して、買付価格が値上がりしています。今後製品価格は、値上がりが続きます。国産・中国産サバについて原料価格は、値上がり傾向での推移となっています。今後製品価格にも反映され、値上がりが予想されます。

イカ

中国産・ペルー産等のアカイカ原料は、漁獲量の大幅減少となっている事を主要因として、原料価格が高騰しています。製品価格も同様に値上がりの状況となっています。今後製品の品薄も予想されます。

※2024年9月末日現在の予測に基づいて作成しております。